

所在地:	福島県本宮市仁井田字一里壇77番地				
敷地面積:	41655m <sup>2</sup>	延床面積:	14589m <sup>2</sup>		
設立:	1986年4月				
ISO14001取得:	1997年11月	ISO14001最新更新:	2009年11月		
主要製品:	ハイブリッドIC、DC/DCコンバータ、AC/DCコンバータ、電流センサ、光伝送部品				
環境コミュニケーション:	09年度				
情報開示:	1件	工場見学:	0名		地域貢献活動:
問合せ:	電源技術グループ 集積回路技術チーム 環境管理		TEL:	0243-33-5111	

## ごあいさつ

当サイトは、福島県の奥羽山脈と阿武隈山系の間に位置する「中通り」の中央部にあり、南部の那須連峰から北部宮城県に向かって流れる阿武隈川と、猪苗代湖の清流を源流とする五百川が交わる水豊かな自然環境に恵まれた地域です。

1986年から1989年にかけてハイブリッドIC専門工場として大阪・門真地区から順次事業移転を行い、以来、家電/自動車/通信/情報制御分野でお客様に満足いただける部品作りをしてきました。

パナソニックグループの一員として環境の取組みを推進し、工場全従業員一丸となって、省エネ、省資源、廃棄物及び環境負荷物質の削減に取組み、環境効率の良い製品作りを進めています。



環境管理責任者

頓部光司

## 2009年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
エネルギーの有効利用活動の推進	高効率設備への更新、省エネ推進委員会によるパトロール、啓蒙活動等により、生産性改善の目標を達成しました。
廃棄物の排出抑制活動及び、リサイクル率向上	廃棄物の削減活動、省資源製品設計等により、廃棄物発生量を抑制し、リサイクル率99.5%の目標を達成しました。
化学物質の排出・移動量削減の推進	設備・作業方法の改善、製品設計の改善等により、化学物質の排出・移動量の削減目標を達成しました。

## 製品・環境配慮ポイントの紹介



### DC/DCコンバータ

#### □製品の特徴・環境配慮ポイント

他出力対応、小型化、軽量化、高効率化を実現した製品です。  
短絡保護機能、ON/OFF機能を内蔵した製品です。  
RoHS規制に適合した製品です。  
地球環境にやさしい製品設計・物づくりを目指します。

#### □用途

薄型TV、事務機器、パソコン、カーナビゲーション、カーオーディオ、デジタルスチルカメラ等の電源



### AC/DCコンバータ

#### □製品の特徴・環境配慮ポイント

スイッチング方式の採用により、小型化、軽量化、高効率化を実現した製品です。  
過電流保護機能、ヒューズ機能を搭載し、発煙発火対策した製品です。  
RoHS規制に適合した製品です。  
地球環境にやさしい製品設計・物づくりを目指します。

#### □用途

家電製品のマイコン、LED、ファンモータ、ブザー、リレー、トライアック等の電源

環境パフォーマンスデータ

グラフ表示年 09:2009年4月1日～2010年3月31日

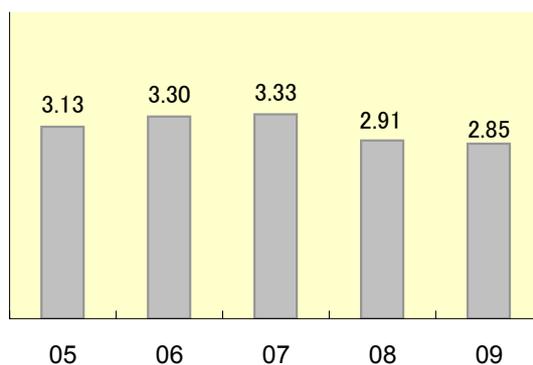
エネルギー使用量

単位:千kl



CO2排出量

単位:千t



自然エネルギー使用量

09年度

(年度)

0.00 千kW/h

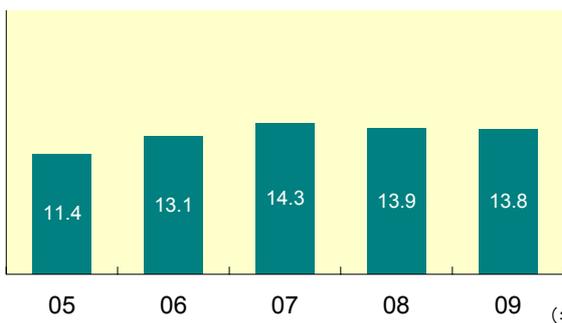
算出基準について

電機事業連合会「電気事業における環境行動計画」(2008年9月)に記載されている年度ごとの「使用端CO2排出原単位」を使用して計算。但し、2006年度以降は0.410kgCO2/kWhを固定して使用。

水の使用量

単位:千m<sup>3</sup>

■ 上水道 ■ 工業用水 ■ 河川・湖水 ■ 地下水



循環的使用量

雨水使用量

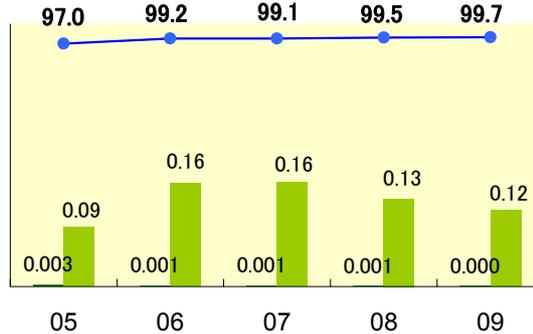
09年度

0.00 m<sup>3</sup> 0.00 m<sup>3</sup>

産業廃棄物・有価発生物

単位:千t、%

■ 最終処分量 ■ 発生量 ● リサイクル率

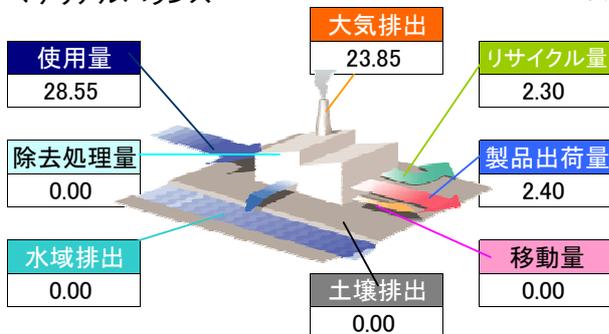


化学物質

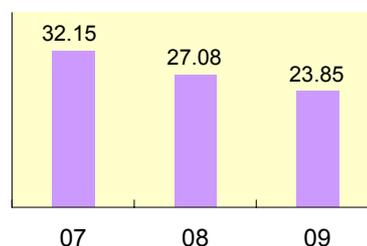
単位:t

マテリアルバランス

09年度



重点削減物質 排出・移動量



パナソニックグループの工場化学物質管理について

[http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical\\_substance/](http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/)

環境パフォーマンスデータの特記事項

エネルギー使用量、CO2排出量、水の使用量、産業廃棄物・有価発生物については、若干ですが、前年度より削減することが出来ました。また、化学物質の重点削減物質の排出・移動量について、前年度より大きく削減することが出来ました。

環境法令等の順法状況 09年度

<大気汚染物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm <sup>3</sup> /h	冷温水発生機 R-1	6.19	3.70	0.06	0.08	2回/年
		冷温水発生機 R-2	6.37	3.80	0.08	0.08	2回/年
NOx	ppm	冷温水発生機 R-1	180	108	53	54	2回/年
		冷温水発生機 R-2	180	108	75	83	2回/年
ばいじん	g/Nm <sup>3</sup>	冷温水発生機 R-1	0.30	0.18	0.00	0.00	2回/年
		冷温水発生機 R-2	0.30	0.18	0.00	0.00	2回/年

<水質汚濁物質計測状況>

	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	最終放流口	40	30	18	18	1回/年
BOD	mg/l	最終放流口	40	30	7	25	1回/月
窒素	mg/l	N/A					
リン	mg/l	N/A					

<騒音・振動>

	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 敷地境界	60	58	49	53	1回/年
		夜 敷地境界	50	48	45	47	1回/年
振動	dB	昼 敷地境界	65	63	25以下	25以下	1回/年
		夜 敷地境界	60	58	25以下	25以下	1回/年

法令規制値：法または条例および協定の規制する値

N/A：法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

法令規制値超過などはありません。

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
報告すべき事項はございません。	

## 環境方針

### 【 理 念 】

パナソニック エレクトロニックデバイス株式会社 カスタム部品ビジネスユニット  
本宮工場は、パナソニックグループの事業ビジョンである「エレクトロニクスNo. 1  
の『環境革新企業』」を目指し、心豊かさを実現するグリーンライフ・イノベーション  
と、全ての事業活動で環境負荷を低減するグリーンビジネス・イノベーションを「くらし」と「ビジネススタイル」の視点で推進すると共に、生物多様性にも配慮し、環境・経済・社会の調和と持続可能な発展に貢献します。

### 【 活動指針 】

1. 「くらしのエコアイデア」の推進
  - ◆我々のデバイスを採用頂く商品によるCO2削減に貢献するため、省エネ・省資源のデバイス開発に取り組みます。
2. 「ビジネススタイルのエコアイデア」の推進
  - ◆省エネ活動を展開し、すべての事業活動におけるCO2排出量を極小化します。
  - ◆投入資源の最小化と再生資源の最大化により、循環型モノづくりを構築します。
  - ◆廃棄物・有害化学物質の削減及び大気・水質・土壌・地下水等の環境汚染の予防と継続的改善により、地球環境保護に努めます。
3. 「グローバル環境マネジメント」の推進
  - ◆利害関係者（ステークホルダー）とのコミュニケーションを円滑にし、その要請・要求事項への的確な対応で環境リスクの低減とCSR強化を図ります。
  - ◆環境人材の育成と環境管理体制の構築を図り、環境経営を実践します。

この環境方針は一般に公開し、社員及び関係者には一人ひとりが社会の中でも環境意識を高める様に周知すると共に、具体的な目的及び目標を設定し、また社会情勢の変化を反映して見直しを行います。

パナソニック エレクトロニックデバイス株式会社  
カスタム部品ビジネスユニット 本宮工場  
工場長 頓部 光司

## 環境負荷削減の取り組み事例



### 省エネ活動

省エネ活動の取り組みのひとつとして、クリーンルーム工程の陽圧機のファンモータをインバータ運転化し、消費電力(3.8→2.4Kwh/台)の改善を実施しました。

## 環境コミュニケーション事例



### 工場周辺のクリーン活動

環境活動の一環として、6月の環境月間に従業員による工場周辺のクリーン活動を実施し、環境美化に努めています。

## 緊急事態への準備と対応

### 考え方と訓練計画

事故、火災及び天災(地震、洪水)等により、工場外に環境被害を及ぼす可能性のある緊急事態を想定して、緊急事態対応訓練を実施しています。



### 緊急事態対応訓練

南消防署のご指導のもと、火災が発生した場合を想定し、初期消火訓練を実施しました。